

ひょうごらくのうメモ

2

2023FEB



表紙：『てへぺろ♡』 淡路市 宇野つばきさん
第40回らくのうひょうごフェスティバル・絵画コンクール応募作品より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

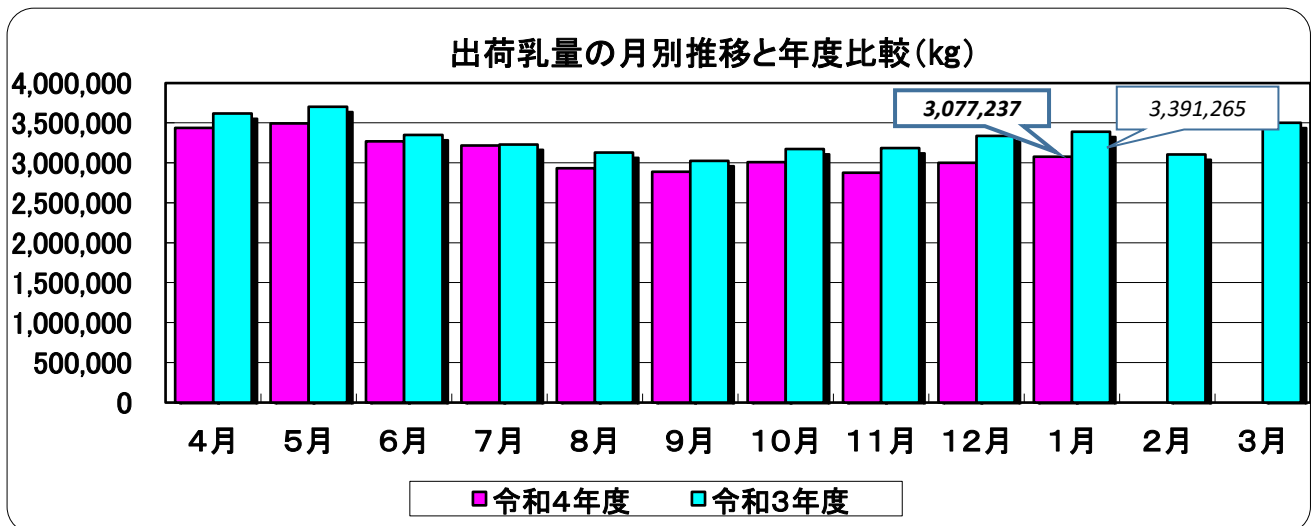
生乳生産統計

1. 全国(令和4年12月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	4年	4月	657.0	102.0
令和	4年	5月	678.5	101.2
令和	4年	6月	642.9	100.4
令和	4年	7月	645.5	101.0
令和	4年	8月	626.9	99.8
令和	4年	9月	606.2	98.8
令和	4年	10月	621.9	98.6
令和	4年	11月	596.9	97.2
令和	4年	12月	621.1	96.2
令和	5年	1月		
令和	5年	2月		
令和	5年	3月		
令和	4年度	累計	5,696.7	99.5

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 5年1月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	576,994	92.0	5,846,977	95.6	20
播州地区	500,514	89.3	5,261,200	91.2	18
丹但地区	308,709	93.6	3,140,300	97.9	14
淡路地区	1,691,020	90.3	16,953,347	93.9	86
合 計	3,077,237	90.7	31,201,824	94.1	138



理事会報告

令和5年1月31日(火)、第7回理事会をWEB会議方式により、理事5名、監事1名の出席の下開催した。組合長挨拶の後、令和4年度生乳計画生産進捗状況、令和4年度10月・11月起点限定決算、地区別懇談会の結果について報告。次の事項について協議した。

- ①相続に伴う組合員加入(変更)の承認について
書面により提出のあった相続による持分譲受、並びに組合員加入申込を承認した。
- ②役員(監事)の補欠選任について
監事の定数を欠くことになり、補欠選任・臨時総会を開催することを決定した。
- ③ひょうご農林機構(兵庫県農業会議)脱退について
業務のスリム化・管理費節減に合わせ、ひょうご農林機構を脱退することを決定した。
- ④酪農経営改善緊急事業(早期リタイア15万円事業)について
3月から実施される生産抑制に係る事業において、生産者等の拠出については、事業参加者に受益者負担として拠出願うことを決定した。

その他の事項として、業務のスリム化にかかるアンケート結果、方向性等を話合った。

◆ 主な行事予定 ◆

2月

- 16日 全国酪農協会・役員報酬等審議委員会(WEB)
- 令和4年度淡路地域畜産技術成果・事例発表会(淡路農技)
- 17日 ひょうご農林機構常任委員会・担い手・企画委員会(共済会館)
- 23日 岩崎税理士巡回税務監査
- 22日 内部管理職会議
- 28日 令和4年度トライやる・ウィーク推進協議会(県公館)

3月

- 1日 職員会議(WEB)
- 2日 牛群検定推進ブロック会議・令和4年度酪農経営支援総合対策事業
現地勉強会(博多区)
- 3日 近畿生乳販連販・理事会(WEB)
- 16日 全酪連・ブロック別会長・組合長会議(大阪市)
- 20日 近畿生乳販連理事会・臨時総会(大阪)
- 22日 兵庫県畜産協会理事会(農業会館)
- 23日 内部管理職会議
- 23日 全国酪農協会理事会(WEB)
- 19日 ひょうご農林機構社員総会(共済会館)
- 31日 棚卸監査(淡路事業所・小野SP・本所)

参考情報

淡路家畜市場情報

令和5年1月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	15	96,213	181,500	17,600			58
前回	13	80,892		162,800	2,200			52	15,321	18.9%	
前年	19	102,300		172,700	30,800			56	-6,087	-6.0%	
オス	今回	13	135,131	317,900	72,600			58			
	前回	20	122,320	225,500	23,100			54	12,811	10.5%	
	前年	12	144,467	202,400	88,000			52	-9,336	-6.5%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	5	10,560	22,000	1,100			52			
	前回	3	9,900	17,600	4,400			48	660	6.7%	
	前年	13	65,746	90,200	16,500			53	-55,186	-83.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和5年12月第4金曜日・前年は令和4年1月9日

令和5年1月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	14	83,679	162,800	33,000			57
前回	15	96,213		181,500	17,600			58	-12,534	-13.0%	
前年	19	114,226		235,400	8,800			57	-30,547	-26.7%	
オス	今回	13	121,000	217,800	35,200			59			
	前回	13	135,131	317,900	72,600			58	-14,131	-10.5%	
	前年	21	170,029	249,700	1,100			55	-49,029	-28.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	3	13,567	19,800	7,700			54			
	前回	5	10,560	22,000	1,100			52	3,007	28.5%	
	前年	4	69,025	83,600	52,800			56	-55,458	-80.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和5年1月第2金曜日・前年は令和4年1月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84852.392	7917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99586.549	7368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104429.79	8775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101787.76	7440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123317.29	6324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117640.26	7227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74406.133	7599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22961.024	5900
5	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150927.73	14421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163424.21	13270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175587.62	15423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178696.53	13776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190858.36	12825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187300.12	12975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157593.29	13177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86296.618	15782
5	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和5年1月乳牛市場成績

市場名	開催日	育成牛(牝・牝系・他)				初妊牛(牝・牝系・他)				経産牛(牝・牝系・他)			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	1/10	498	386	8	221								
十勝	1/12					785	1,110	124	517	138	704	90	315
南北海道	1/13	45	294	6	188	74	903	354	513	21	556	59	254
釧路	1/18					264	805	113	474	2	290	165	228
根室	1/19					568	882	242	493				
豊富	1/20					334	814	143	529	7	375	81	192
北見	1/25					362	705	231	481	3	297	65	201
十勝	1/30	423	397	1	258								
合計	8回	966	397	1	236	2,387	1,110	113	503	171	704	59	299
前年同月成績	8回	1,009	631	4	368	1,972	1,210	110	621	123	804	80	300
前月合計成績	8回	1,067	341	6	181	2,639	1,088	59	477	199	737	11	234

ホクレン乳牛市場開催日程

2月2日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	〈音更〉	3月2日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
2月8日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	〈大楽毛〉	3月9日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
2月9日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	〈中標津〉	3月10日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)
2月10日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	〈安平〉	3月17日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
2月16日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	〈豊富〉	3月20日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
2月20日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	〈大楽毛〉育成	3月21日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
2月21日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	〈音更〉	3月22日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
2月22日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	3月23日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
2月27日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	〈音更〉育成	3月24日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)育成
			3月27日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)育成

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所(問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	苫払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

★家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和5年2月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	1.5~2.5	横這い	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で99.7%、昇計で102.0%、苫小牧管内月計で95.3%、昇計で96.6%の増減となっております。
	初妊牛	4.7~5.7	やや強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、4月下旬~5月中旬分産が中心となっております。初妊牛につきましては、春分産牛の道内需要があまり初妊牛市場も強含みに推移しました。雌乳購買につきましては強含みに推移するかと考えられます。
	経産牛	2.0~3.0	横這い	個別といたしまして、2年後移見解の需要が高まっており、引き合いがかなり強くなってきている状態です。経産牛につきましては、雌乳需要が多くあり春分産牛でも雌乳な動きを多くとると考えられます。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横這い	札幌管内の1月1日現在の生乳生産量前年比は、新管内月計で93.4%、昇計で97.2%、中標津管内月計で94.2%、昇計で98.1%の増減となっております。
	初妊牛	4.7~5.7	やや強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、4月下旬~5月中旬分産が中心の動きとなりますが、4月分産牛については半明け、下旬の動きがあったこととともあり、引替傾向にありまして、最終については春分産需要による購入が本格化する時期でもあるため、上層基調の動きになるものと思われれます。先月と同じく雌乳選別販の増減が少なく牛乳増産が顕著な傾向はありますので情報には注視していきたいと思えます。
	経産牛	3.0~4.0	やや強含み	経産牛につきましては、需要もありやや強含みと予想されます。春分管内の1月1日現在の生乳生産量前年比は、青森管内月計で94.7%、昇計で99.5%の増減となっております。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横這い	2月の初妊牛動向といたしまして、4月下旬~5月中旬分産が中心となっております。初妊牛については、春分産の増減が少なく管内でも導入の動きが活発になってきてきているため、やや強含みに推移するかと考えられます。また、管内がファームの導入もあり、しばらくは引き合いが強くなるかと考えられます。経産牛につきましては先月同様に、増減は順調にあるため徐々に推移するかと考えられます。
	初妊牛	5.0~6.0	やや強含み	
	経産牛	2.3~3.3	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	1.5~2.5	横這い	道北管内の1月1日現在の生乳生産量前年比は、稚内管内月計で95.3%、昇計で99.0%、北見管内月計で92.2%、昇計で97.9%の増減となっております。
	初妊牛	4.5~5.5	強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、4月下旬~5月中旬分産が中心となっております。初妊牛については、増産頭数は前半並みにありますが、管内の動きとしては新築就農農地に向けての更新需要があり、導入意欲が倍々になってきているため強含みに推移するかと予想されます。
	経産牛	2.5~3.5	やや強含み	経産牛につきましては、初妊牛と同様の需要になると思われるためやや強含みに推移するかと考えられます。道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は94.5%、昇計で98.6%の増減となっております。日中でもマイブラス気温が続き、冬の寒さが本番となっております。
道南管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横這い	2月の初妊牛動向といたしましては、春分産中心となり道内外ともに需要が高くなるかと予想され、相場はやや強含みに推移すると思われれます。資源については、雌乳需要はありますが不足する傾向で、個別でも初産に雌乳選別販が少ないことが懸念されています。都府県からの雌乳購入も増加してきており、徐々に購買意欲が回復していることが感じられます。引き続き相場の変動に注視していただきたいと思えますが、購入を計画されている場合は、お早めにお近くの弊会理当者までご意見を伺えます。よろしくお願い申し上げます。
	初妊牛	4.7~5.7	やや強含み	
	経産牛	2.5~3.5	やや強含み	

*上記相場は、血統登録牛(コクラス)の雌牛選高購買による予想相場です。

雌牛選高購買のため、戸場購買とは異なります。

雌乳、乳牛購買手帳に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画がありまじさら、雌乳の支所へのご一考下さい。
 担当者がお伺いし、最近の状況を説明し、納得いただけるよう購買のお手配をお願いします。
 また、購買後の相談・牛乳処理は、責任を持って責任を持ってさせていただきます。

各 市 務 所 電 話 番 号
 釧路事務所 ☎0154)21-282
 札幌管内事務所 ☎0153)76-1877
 帯広事務所 ☎0155)97-605
 道北事務所 ☎0165)42-2388

全道農業協同組合連合会(全農道)

札幌支所
 ☎011-241-0765

令和5年2月13日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

北米西海岸南部（PSW）のロサンゼルス・ロングビーチ港では過去2年、年末年始に直面したような大きな混雑もなく、現在も日本向けの直行便は安定的なスケジュールで運航されています。

海上運賃は、コロナ禍の巣ごもり需要で20年に急激に高騰したものの、22年夏以降、世界的なインフレや景気の減退からコンテナの荷動きが鈍化し船腹に余剰が出ており、コロナウィルス感染拡大前の水準に戻りつつあります。

昨年から続いている西海岸の港湾労使交渉は今のところ、進展は発表されていません。これまでオークランド港やロサンゼルス・ロングビーチ港では、短時間の荷役停止やスローダウン等の小規模活動が散発的に行われましたが、大きな影響は出ていない状況です。今回の交渉は港湾作業の自動化が最大の争点と言われており、過去の交渉を鑑みると契約の締結まで気が抜けない状況が続きます。

ビートパルプ

【米国】

産地では22-23年産の生産が続いています。一部の地域では、労働力の確保に苦慮し、また工場の乾燥用ドライヤーが故障したため、ビートパルプの生産に遅れが生じています。この影響で乾燥工程の必要が無い内需向けのウェットパルプの出荷が増加しており、輸出向けのビートパルプの生産量の減少が懸念されています。また冬期に入り、降雪等の天候不順が続いているため、工場から積み出し港への鉄道輸送で不安定なスケジュールが続いています。

アルファルファ

中国農業省は1月13日、米国産遺伝子組み換え（GMO）作物8種類の輸入を承認したと発表しました。この8種類の作物の中には、アルファルファも含まれており、今回、除草剤耐性のある2品種が承認されました。これまで中国はGMO種アルファルファの輸入を禁止していたため、輸出需要が多い西海岸の多くの地域でGMO種の作付けが敬遠されてきましたが、輸出向けアルファルファの60%を占める中国が今回

輸入を解禁することから、今後 GMO 種の作付面積が徐々に増加がされることが見込まれています。

ワシントン州

産地では冬期に入り、降雪の影響で放牧草が利用できないことから、米国内需向けで低級品の引き合いが増えています。一方で直近の米国内の乳価が一時期の高値に比べ軟調で、国内内需は必要最低限の買付に抑える傾向が見られます。

カルフォルニア州

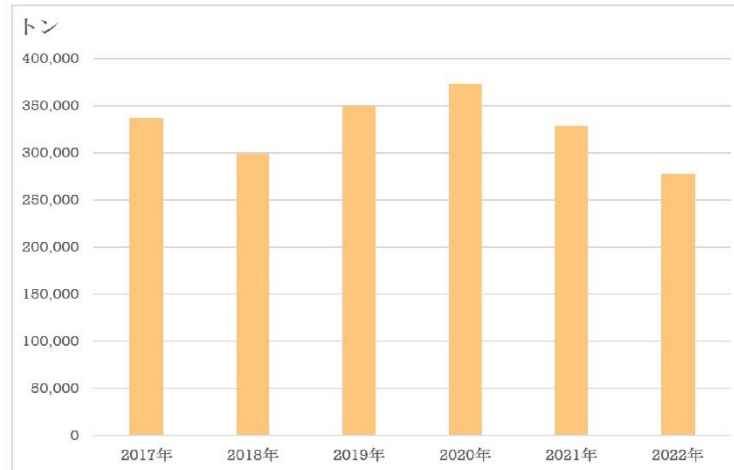
カルフォルニア州南部インペリアルバレーでは、23年産の生産が進んでおり、一部の圃場で収穫が開始されています。産地では冬期に入り冷涼な気候が続いており、輸出向けの乾草が生産できないため、大半が内需向けに販売されています。一方でアルファルファ需要の強い、中国向けは旧正月を迎え、1月に入り需要は落ち着いていましたが、直近では徐々に回復を見せています。

産地当局から発表されました、1月15日付けのインペリアルバレーにおけるアルファルファの作付面積は前年同期比114%となる153,369エーカーとなっています。

米国産チモシー

22年産で異常な高値となったため、日本のみならず韓国でも需要が減少しています。産地の輸出業者によっては工場の操業に苦慮しており、資金繰りと工場稼働改善のため、価格調整を行い、出荷を促しています。

農林水産省・植物防疫所から発表された輸入統計によると、22年1-12月における米国産チモシーの輸入量は277,231トンとなっており、前年21年に比べ、およそ50,000トン、一昨年20年に比べ100,000トン減少しています。このことから、高止まりした米国産チモシーの需要減少が分かります。



(米国産チモシー輸入数量の推移 出典：植物防疫所 植物検疫統計データ)

スーダングラス

22年産は各輸出業者で繰り越し在庫がないまま、収穫が開始され旺盛に買付が行なわれました。加えて早魃に起因する節水の懸念から生産量の減少を危惧し、競争が激化し、その結果、21年産対比で大幅な値上がりとなりました。一方、高値で推移していることから、日本での需要は減少傾向にあります。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

カルフォルニア州南部インペリアルバレーの灌漑局から発表となった1月15日時点の作付面積は21,895エーカー（昨年同時期19,462エーカー）、前年同時期比113%となっています。

今冬は西海岸全域で降雨や降雪量が例年以上となっており、春先から自給飼料の活用が望めることから、一時、旺盛であった内需からの引き合いは一服しています。このため輸出業者によっては22年産からの繰越在庫多く保有したまま、4～5月にかけて始まる新穀の収穫作業を迎える可能性があります。

バミューダ

バミューダハイは米国内の酪農家及び馬糧からの引き合いが強い一方で、輸出需要は減少傾向にあります。バミューダストローに関しても輸出需要の減退はあったものの、国内の酪農家及び肥育農家向けに対して、相対的に安価な繊維源として現在も取引されています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

アニュアル種のライグラスストローは、主な輸出先である韓国において自給飼料の作況が良好であったことや、22年産で多くの低級品が発生した豪州産オーツヘイの影響を受けて船積みが鈍化しています。

他方でオレゴン産ストローが出荷されるポートランド港では、毎年冬期になると空コンテナ不足によるスケジュールの遅れが懸念されていましたが、直近では大きな問題となっておらず、出荷が続けられています。

カナダ産チモシー

産地アルバータ州では、降雪の影響で国内の輸送が混乱し、工場の生産に遅れが生じています。また、景気後退に伴い、カナダでも輸入貨物が減少しているため、空コンテナ不足となっており、各船社で船腹予約が取りづらい状況となっています。

豪州産オーツヘイ

22年産オーツヘイは東豪州、南豪州において収穫期に発生した「ラニーニャ現象」と「負のインド洋ダイポールモード」の影響で洪水を伴う断続的な降雨に見舞われたため、これらの地域では低級品中心の生産となりました。特に東豪州では重度の雨当たりから、輸出に適さない品質が多く発生しています。また圃場が水浸しになり、自給粗飼料の収穫ができなかった酪農家からの需要が高まり、国内相場は堅調に推移しています。一方で降雨の影響がなかった西豪州では、上級品中心に中級品から低級品までバランスよく収穫されています。

豪州コンテナ船情勢

右肩上がりで上昇していた豪州航路の運賃は、景気後退に伴い、ピークに達した印象で、若干ではありますが軟化傾向にあります。

直近では中国における旧正月前に実施された「ゼロコロナ政策」の影響で中国内の工場や港湾の稼働が鈍化したことで、中国から豪州向けの輸出が減少しコンテナ定期船の減便が行なわれました。この影響で空コンテナ不足に加え、船腹も不足しており、2週間～1か月程度のスケジュールの遅延が発生しています。

以上

令和5年4月～令和6年3月 凍結精液保存液体窒素配布スケジュール表

4月	5月	6月
4日 (火) 東播コース 11日 (火) 丹波コース 25日 (火) 西播コース	9日 (火) 東播コース 16日 (火) 丹波コース	6日 (火) 西播コース 13日 (火) 東播コース 20日 (火) 丹波コース
7月	8月	9月
11日 (火) 西播コース 18日 (火) 東播コース 25日 (火) 丹波コース	8日 (火) 西播コース 22日 (火) 東播コース 29日 (火) 丹波コース	19日 (火) 西播コース 26日 (火) 東播コース
10月	11月	12月
3日 (火) 丹波コース 24日 (火) 西播コース 31日 (火) 東播コース	7日 (火) 丹波コース 28日 (火) 西播コース	5日 (火) 東播コース 12日 (火) 丹波コース 26日 (火) 西播コース
1月	2月	3月
9日 (火) 東播コース 16日 (火) 丹波コース 30日 (火) 西播コース	6日 (火) 東播コース 13日 (火) 丹波コース	5日 (火) 西播コース 12日 (火) 東播コース 19日 (火) 丹波コース

【西播コース】

藤田酸素(8:00～) ➡ JA兵庫西 宍粟(13:00～13:20) ➡ 播磨農高内(14:00～14:20)

【東播コース】

藤田酸素(9:30～) ➡ 県立農業高校(10:00～10:15) ➡ JAあかしライセンター(10:40～10:50)
➡ JA兵庫六甲 神出支店(11:10～11:20) ➡ NOSAI東播家畜診療所(13:35～13:55)

【丹波コース】

藤田酸素(8:00～) ➡ 丹波ひかみ畜産 丹但酪農氷上(10:55～11:15)
➡ 丹波家畜集散市場(13:00～13:15) ➡ JAみのり吉川営農経済センター(14:15～14:30)